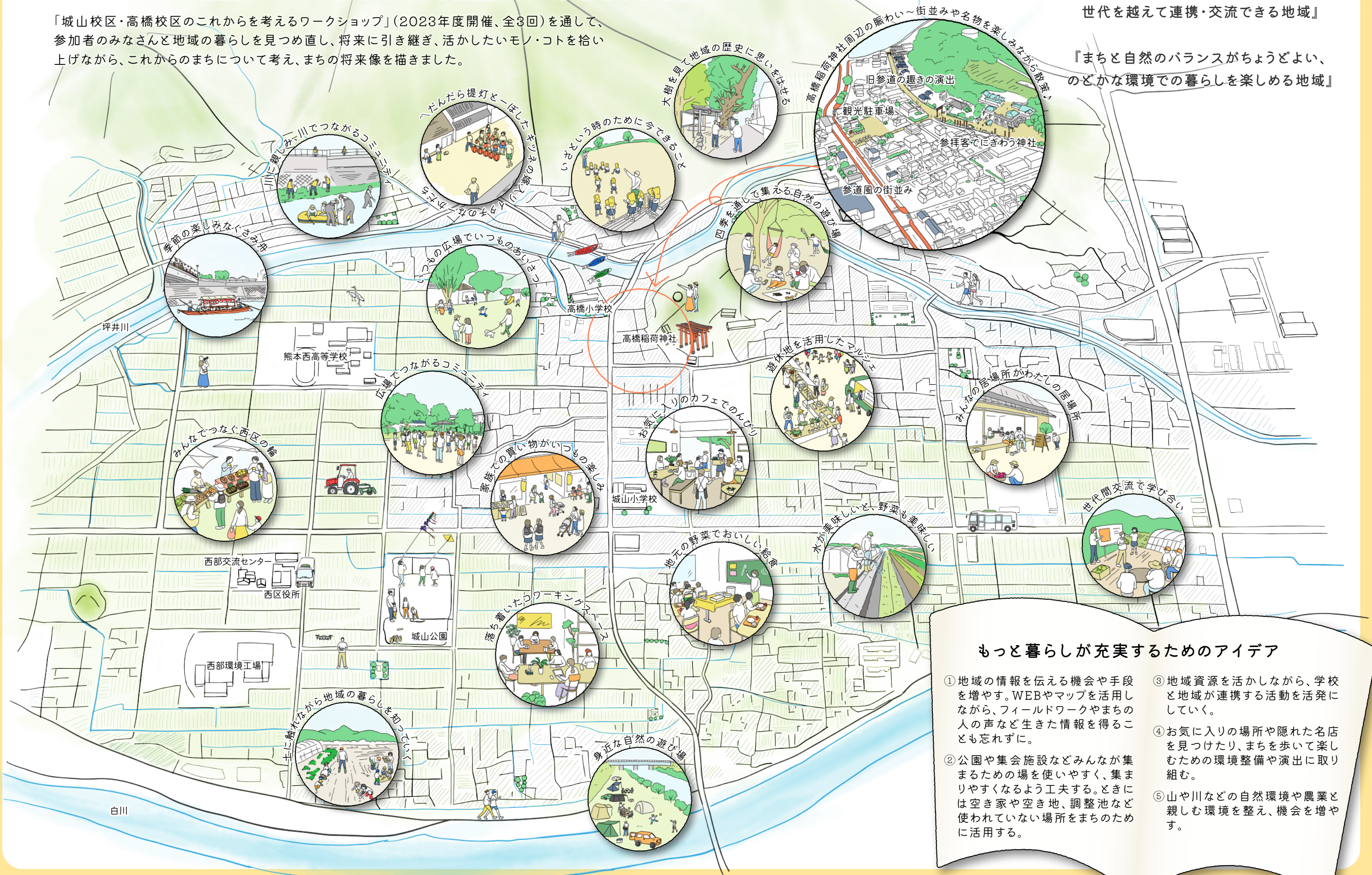


城山校区・高橋校区の将来像イメージ

「城山校区・高橋校区のこれからを考えるワークショップ」(2023年度開催、全3回)を通して、参加者のみなさんと地域の暮らしを見つめ直し、将来に引き継ぎ、活かしたいモノ・コトを拾い上げながら、これからのまちについて考え、まちの将来像を描きました。

『地域の歴史や伝統、文化を継承しながら、
ゆるやかなネットワークの中で、
世代を越えて連携・交流できる地域』

『まちと自然のバランスがちょうどよい、
のどかな環境での暮らしを楽しめる地域』



もっと暮らしが充実するためのアイデア

- ① 地域の情報を伝える機会や手段を増やす。WEBやマップを活用しながら、フィールドワークやまちの人の声など生きた情報を得ることも忘れずに。
- ② 公園や集会施設などみんなが集まるための場を使いやすく、集まりやすくなるよう工夫する。ときには空き家や空き地、調整池など使われていない場所をまちのために活用する。
- ③ 地域資源を活かしながら、学校と地域が連携する活動を活発にしていく。
- ④ お気に入りの場所や隠れた名店を見つけたり、まちを歩いて楽しむための環境整備や演出に取り組む。
- ⑤ 山や川などの自然環境や農業と親しむ環境を整え、機会を増やす。